

受理年月日	平成27年12月16日	付託年月日	平成27年12月17日	所管委員会	第5委員会
番号	27年請願第23号				
件名	クリーンパーク東部余熱利用センター浴場の継続について				
請願者	東区蒲田一丁目14-1-403 クリーンパーク東部の余熱利用と浴場継続を求める福岡市民の会 代表 細川 昭代 外 137人				
紹介議員	森(あ)、荒木、綿貫、熊谷、星野、中山、倉元、堀内、ひえじま				
分割付託	なし				
要旨	<p>クリーンパーク東部余熱利用センター浴場は、1日に150人から200人、年間約3万5,000人も利用がある余熱利用センターの中核施設として毎日利用者でにぎわっている、極めて稼働率の高い市民貢献施設です。30年以上にわたり本市市民に親しまれ、憩いの場として、市民は楽しみにしてきました。三日月山登山後の利用も多く見受けられます。</p> <p>11月に小さく張り出された突然の閉館の知らせを市民は大変残念に思っています。ここでおしゃべりするのが楽しみ、ここがなくなれば鬱病になりそう、というおばあさんもいて、突然利用を中断されるお年寄りの精神的苦痛は、はかり知れません。</p> <p>石油資源を燃やさなくてもよい十分な熱源と用地があり、浴場運営のコストが低く抑えられる特に恵まれた立地です。余熱から生み出されるお湯がある、それだけでこれほど市民に貢献できる施設は、ほかにありません。蒸気管の腐食によるメンテナンス費用が大きいことについては、温水送湯を検討してください。余熱発電の電力によるシャワーを数基設置するといった家庭用レベルの設備では余熱を生かしているとは言えませんし、市民の憩いの場とはなり得ません。電気は売れるのだから売ればよいのであって、さらに余り、捨てるしかない余熱を利用すべきなのです。</p> <p>余熱を利用せずスポーツ広場のみをつくったところで、現テニスが平日はほとんど利用者がいないことから、平日は誰も来ないことが予想されます。特にお年寄り体力の低下からスポーツのみをする人は少ないです。むしろ浴場を中心に据えて、そこから他の施設の利用へと広げていくよう誘導すべきではないでしょうか。</p> <p>環境という観点からも、余熱エネルギーは利用し尽くすことが世界的なエコロジーの流れです。余熱を利用しないで捨てる、というのは時代に逆行しています。</p> <p>市民の憩いの場であり心身の健康にも貢献できることを考えれば、余熱利用の浴場は、市の予算規模、クリーンパークの予算規模から見て不相応な施設ではありません。クリーンパーク東部は余熱を利用しない施設でいいのですか。今や、地元蒲田だけでなく、東区さらに本市全域からも利用されている市民全体の施設です。蒲田地区の住民でさえ廃止を知らされていなかった人が大部分です。少数の委員の意見だけでなく市民から広く十分に意見を聴取すべきです。余熱利用の浴場をなくさないでほしい、継続してほしいという市民の思いが多くあることを酌み取ってください。</p> <p>よって、以下の事項を請願します。</p> <p>1. クリーンパーク東部余熱利用センター閉館に伴い閉鎖される浴場の継続について、新館建設等で引き続き、これまで同様に利用できるようにすること。</p>				
審査	平成 年 月 日	結 果	委員会 平成 年 月 日		
年月日	平成 年 月 日		本会議 平成 年 月 日		
	平成 年 月 日				

平成27年12月16日

クリーンパーク東部余熱利用センター浴場継続に関する請願書

福岡市議会議長

おばた 久弥 様

請願団体

クリーンパーク東部の余熱利用と浴場継続を求める福岡市民の会

住所 福岡市東区蒲田1-14-1-703

代表 細川 昭代

tel

署名 細川 昭代外 137 名



クリーンパーク東部余熱利用センター浴場継続に関する請願書

請願の趣旨

クリーンパーク東部余熱利用センター浴場は、1日に150人から200人、年間約35000人もの利用がある余熱利用センターの中核施設として毎日利用者で賑わっている、きわめて稼働率の高い市民貢献施設です。30年以上にわたり福岡市民に親しまれ、憩いの場として、市民は楽しみにしてきました。三日月山登山後の利用も多く見受けられます。

11月に小さく貼り出された突然の閉館の知らせを市民は大変残念に思っています。ここでおしゃべりするのが楽しみ、ここが無くなればうつ病になりそう、というお婆さんもいて、突然利用を中断されるお年寄りの精神的苦痛は計り知れません。

石油資源を燃やさなくてもよい十分な熱源と用地があり、浴場運営のコストが低く抑えられる特に恵まれた立地です。余熱から生み出されるお湯がある、それだけでこれほど市民に貢献できる施設は他にありません。蒸気管の腐食によるメンテナンス費用が大きいことについては、温水送湯を検討して下さい。余熱発電の電力によるシャワーを数基設置するといった家庭用レベルの設備では余熱を生かしているとは言えませんし、市民の憩いの場とはなり得ません。電気は売れるのだから売れば良いのであって、さらに余り、捨てるしかない余熱を利用すべきなのです。

余熱を利用せずスポーツ広場のみを作ったところで、現テニス場が平日は殆ど利用者が無いことから、平日は誰も来ないことが予想されます。特にお年寄りは体力の低下からスポーツのみをする人は少ないです。むしろ浴場を中心に据えて、そこから他の施設の利用へと広げていくよう誘導すべきではないでしょうか。

環境という観点からも、余熱エネルギーは利用し尽くすことが世界的なエコロジーの流れです。余熱を利用しないで捨てる、というのは時代に逆行しています。

市民の憩いの場であり心身の健康にも貢献できることを考えれば、余熱利用の浴場は、市の予算規模、クリーンパークの予算規模からみて不相応な施設ではありません。クリーンパーク東部は余熱を利用しない施設でいいのですか。今や、地元蒲田だけでなく、東区さらに福岡市全域からも利用されている市民全体の施設です。蒲田地区の住民でさえ廃止を知らされていなかった人が大部分です。少数の委員の意見だけでなく市民から広く十分に意見を聴取すべきです。余熱利用の浴場を無くさないで欲しい、継続して欲しいという市民の思いが多くあることを汲み取って下さい。

以上のことをもって以下の請願をいたします。

請願事項

クリーンパーク東部余熱利用センター閉館に伴い閉鎖される浴場の継続について、新館建設等で引き続き、これまで同様に利用できるよう求める。